



ホームページ
「中野あきと」

日本共産市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

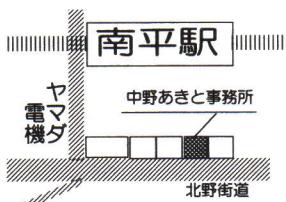
みどりと清流

中野あきと事務所
〒191-0041 日野市南平7-6-72
TEL・FAX 042-599-3350
発行責任者 小林 進

第135号
2013年 8月発行

法律・生活相談など
お気軽に立ち寄り下さい

日刊紙1ヶ月 3400円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み 党南多摩事務所
TEL 042-374-4384
または中野事務所へ



日本共産党（改選）3議席から8議席へ 日野では、比例も選挙区も自民に次ぐ第2位

7月21日投開票が行われた参議院選挙で、日本共産党は改選3議席から8議席となり、非改選の3議席と合わせて参議院で11議席となりました。この結果は、参議院における党首討論への参加と議案提案権を確保することになり、国民の声で政治を動かすための大切な権限行使できるようになりました。

比例代表選挙では、全国で515万4055票（得票率9.68%）となり5議席の目標を達成し、東京では77万2500票（得票率13.71%）で、初めて自民党に次いで第2党となりました。東京選挙区の吉良よし子候補は、70万3901票（得票率12.49%）を得て第3位で当選を果たしました。

また、日野選挙区では、下記の表のとおり比例選挙でも第2位、選挙区の吉良候補も第2位という結果となりました。

今回の参院選で日本共産党は、都議選での成果と教訓を生かし、自民党安倍政権の暴走に対し『自共対決』

を鮮明にした攻勢的論戦を貫き、暮らしと景気・雇用、原発、憲法、外交など自民党政治を転換する抜本的対案を明らかにして、広範な無党派層や他党支持の皆さんにも働きかけてきました。また、解禁されたネット選挙の条件も生かして若い世代をはじめ、これまで日本共産党に接点のなかった少くない有権者にも、党のありのままの姿を知ってもらうよう努力し、躍進につなげてきました。

選挙は、安倍自公政権が多数の議席を占める結果となりましたが、国民多数の願いと自民党政治の矛盾は新たな激動を呼び、国民の声が届く新しい政治を求めての探求は更に発展せざるを得ない状況にあります。

選挙戦で訴えた公約と政策実現のために、国会内外での共同を強め、草の根からの要求実現をめざしてがんがる決意です。



東京選挙区・日野市開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
当 丸川珠代	自由民主党	15,894	20.55%
当 吉良よし子	日本共産党	11,194	14.48%
鈴木 寛	民主党	10,468	13.54%
当 山口なつお	公明党	9,124	11.80%
当 山本太郎	無所属	8,392	10.85%
当 たけみ敬三	自由民主党	6,380	8.25%

比例代表・日野市開票結果

党派	得票数	得票率
自由民主党	23,579	30.40%
日本共産党	11,919	15.37%
民主党	11,285	14.55%
みんなの党	8,627	11.12%
日本維新の会	8,402	10.83%
公明党	7,678	9.90%

短信

お盆に帰省しますか。故郷へ帰つてみると「こんな感じ」とその変貌に思い出すのはたいてい何十年前のことだ。川には沢ガ二がたくさんいたし、湧き水も飲めた。だが戦争の影も隣り合はせだった。自衛隊の前身の警察予備隊射撃練習場があり、夜になると赤や緑の色を放つ弾丸を撃つて、花火のように見えた。機関銃が冷却の蒸気を上げながら鳴っていた。走行する戦車のキヤタピラの後ろをどこまでもついていった▼先日「百枚めの写真・一銭五厘たちの横丁」という演劇を観るに送る目的で撮った99枚の写真の中の出征家族を、30年後に訪ね歩き、話を聞くという物語である▼様々な人が語る中議なのは写真は99枚なのに、演じた横丁の戦争というものが浮かび上がってくる。不思議なのは写真は100枚なのに、写真は100枚である。100枚目の写真とは何か?▼麻生副総理は憲法改正にはナチスの手口を学んだらどうかね」と発言した。ナチスに学んで出来る憲法は推して知るべしである。100枚目の写真の意味や警告を深く考えたいのだ。(H)

市民説明会でも反対の意志が明確に！

6月から7月にかけて市内8カ所で行われた市主催の「ごみ処理広域化についての説明会」においても、圧倒的に多数の反対の声が示される結果となりました。

説明会では厳しい質問や意見が次々に上がり、大坪市長も、「合意を受け取る立場に変わりはない」「市民全体の合意とクリーンセンター周辺の方々の合意と両方必要」「多数決で決める」というのは難しい問題です。仮に住民投票で広域化が賛成になつたとしても、地元が反対というときには、追い込まれました。

一方で、4月から5月にかけて広域化をすすめるための予算が国から内示され、市は9月議会に基本計画の策定や環境影響調査のための予算化を図るなどと答弁せざるをえない事態に追いつきました。

しかし、全市民的な合意も地元住民の合意も得られていない中、9月議会での予算化を強行することは、説明会での市長の発言に照らしても決して許されないはずです。

6月議会

副市長を1人から2人へ増員
～日本共産党市議団は反対～

6月議会に大坪新市長は副市長人事についてこれまでの1人から2人へと増やす議案を提案、日本共産党市議団を除く自民、公明、民主、社民の賛成で可決、成立しました。

そもそも、副市長については2005年に2人から1人へと減らした経過があります。当時の馬場市長は副市長を減らす理由について、財政難のもとでの行政の効率化とともに「職員の数を減らし給料を減らし、市長だけ助役を二人おいてなんだと、強い指摘をいただいてきた」と説明していました。

今回の提案にあたり、日本共産党市議団は、①副市長を1人へと減らしてきた経過や理由に照らしても、その状況はがら変わっておらず2人に増やす根拠は成り立たないこと、②行政未経験の新市長ならともかくも、福祉・まちづくりのスペシャリストと市長自身が強調されていたように、豊かな行政経験をもっておられ増やす必要性はないと、③ましてや新しく副市長に提案されている2人の人はいずれも市の幹部職員(現旧幹部職員)で、増やす意味は感じられないこと、などを理由に反対しました。

巨大物流施設に2000台の車両
住民が協議会つくり対策求める

東芝跡地に三井不動産が計画する巨大物流施設の開発基本計画説明会が7月7日と13日に開かれ、住民のべ140人が参加しました。

高さ36mの巨大な建物が2棟建ち、冬は周辺が広く日陰になります。24時間365日稼働し、1日に大型車など2000台が出入りし、そのピークは朝7時台で登校時間帯にかかります。様々な影響に対して、説明会では影響に関する資料は画像を見せるだけで配布せず、参加者から批判の声が相次ぎました。

こうした中で7月31日、「東芝跡地の巨大物流センター旭が丘住民協議会」(以下協議会)が結成されました。協議会は、事業者に対して周辺住民と十分な調整・協議をするように申し入れました。日野市に対しても説明会の開催や事業者への適切な指導を求めました。

日野市の「まちづくりマスタートップラン」は「規模の大きな敷地での土地利用では特に周辺環境に配慮が必要」とし、「周辺の住環境の土地利用や建物高さと調和する」計画を作成するよう求めています。

巨大物流施設は「周辺の住環境に調和した」ものではないのは明らかです。住民が長い年月でつくってきた良好な住環境を破壊します。このような計画を認めた市の責任も問われています。

2013年
平和のつどい

日 時 9月7日（土）
午後2時30分～午後4時30分
会 場 日野市・七生公会堂
内 容 ★原水爆禁止世界大会報告
★小森陽一さんのお話（九条の会事務局長）
「安倍晋三政権の危険な本質」
～原発再稼働・アベノミクス・憲法改悪～
展 示 原爆パネル展示など・・・
参 加 費 500円
主 催 平和のつどい実行委員会
問合せ先 042-583-4773（新日本婦人の会日野支部）

作成したイメージ図



《2013年 9月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
9月 12日（木）
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見をお寄せ下さい。